



## 地元の山を知り 県産材を識る。 県産材マッチング ツアー

東信地区

2021年12月10日、長野県松本市にて建築士や工務店向けの「県産材マッチングツアー」が開催されました。赤松の伐採現場や、製材工場などを見学させていただきました。こちらのツアーは長野県で大きく育った地元の木（大径木）をもっと地元の企業に使ってもらい木材資源の循環サイクルを加速させよう！という趣旨のもと開催されています。最後に行われた地元材木店との商談会も多く企業が参加しており、県産材活用の大切さが伝わるツアーとなりました。



伐採現場を見学させていただいたのは『柳沢林業』さん。道路脇には赤松の丸太がゴロゴロ積み重なっていました。寒い時期に伐採した丸太は色艶が良く、内装材にすると木肌の美しさが際立ちます。私自身材木屋に勤めて2年以上たちましたが実際に伐採現場を見るのは初めてでした。木の倒れる瞬間のダイナミックさには感動しました！木の倒し方のポイントも教えて頂き、県産材への親近感が増す体験をさせていただきました。

製材工場を見学させていただいたのは、『征矢野建材』さん。松本平の山々を望む事が出来る敷地は31,690坪という広大な広さ！工場内はきちんと整理整頓させていて、機械も丁寧にメンテナンスされていました。乾燥機は中温乾燥機を含め46機もあり、床板ならば一日で500坪くらいの加工ができるそうです。敷地の頂上には木質バイオマスを燃料とした県最大規模の発電所もあります。



## 新春特別編 地元を知る。

### 上田市信濃国分寺

#### 『八日堂縁日』

みなさま、明けましておめでとうございます。新年が開けた1月7日から8日、上田市の信濃国分寺では「八日堂縁日」が行われます。八日堂縁日には護摩法要や御祈祷の他「蘇民将来符」という護符や達磨（だるま）が販売されます。特に7日は夜の10時まで開いているので、信濃国分寺駅前の国道が非常に混みます。間違ってもこの日の帰宅ルートは国道を選ばないようにしましょう！

そもそもこの「蘇民将来符」とは何ぞや？と思われる方も多いのではないでしょうか。蘇民将来とは備後国風土記（備後国は今でいう広島県）に記された人物のことだそうです。現在では災厄や疫病を払い、福を招く神様として信仰されています。達磨やお守りは1年毎に新しいものに替え、古いものはその年のどんと焼きやお寺で燃やしてもらいますが、蘇民将来符は置く場所があるのならば、毎年貯めていく方が良いでしょう！またこの蘇民将来符は「ドロヤナギ」の木から作られています。

加工し易く木目が美しいためこの木が使われています。護符は2種類あり、お寺で用意するものと、蘇民講と呼ばれる人達で作るもの（絵蘇民）があります。絵蘇民は七福神の絵入りで、6つの側面には、「大福・長者・蘇民・将来・子孫・人也」の文字が記されています。デザインも1つ1つ違います。弊社でも毎年達磨と一緒に供えています。コロナ下でお出かけしにくい状況ですが、一度も行ったことがない！という方はぜひ来年はお参りください。

CHECK IT!

#### Company Profile

株式会社 第三木材  
〒389-0514  
長野県東御市加沢201-5  
TEL:0268-62-1202  
FAX:0268-62-1204  
HP:https://dai3wood.co.jp



WOOD CHANGE  
「伐って、使って、植えて、育てる」

